

令和8年度長野県立歴史館夏季企画展

戸隠の至宝

— 守り継がれた信仰と由緒

TREASURES OF TOGAKUSHI — Legacy of Faith and History



木造聖観音坐像(長泉寺蔵)

丸山晩霞 戸隠神社奥社参道(丸山晩霞記念館蔵)

令和8年(2026年)

7月11日(土)

8月23日(日)

『感応公丁未震災後封内御巡視之図』より(真田宝物館蔵)



木造伝毘沙門天頭部(真界寺蔵)

開館時間 ● 9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日 ● 月曜日、7/21(火)、8/12(水) ※ただし7/20(月)は開館。

主催 ● 長野県立歴史館

協力 ● 戸隠神社、戸隠観光協会

後援 ● 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日报社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

● 観覧料 ()内は20名以上の団体料金

区分	企画展	常設展・企画展(共通券)
一 般	300円(200円)	500円(400円)
大 学 生	150円(100円)	250円(200円)
高 校 生 以 下	無料	無料

● 下記に該当する方は、証明書等を提示の上、無料で観覧いただけます。
・ 県内大学・短大・専門学校生、年間パスポート会員
・ 障害者手帳をお持ちの方及びその介護者(1名まで)
※聴覚障害をお持ちの方で、特別な配慮をご希望の方は、講座・講演会のお申込みの際にお申し出ください。

長野県立歴史館 〒387-0007 千曲市大字屋代260-6
TEL:026-274-3991(総合情報課)

<https://www.npmh.net/>



幾多の苦難を乗り越えて 受け継がれてきた宝物を一堂に公開

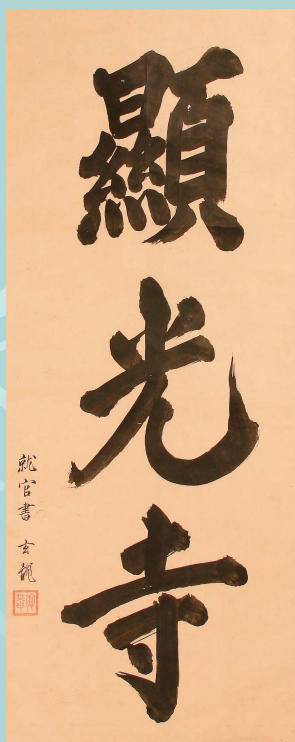
戸隠は、かつて国内有数の霊験所として知られ、多くの修行僧や参拝者が訪れました。幕末明治初期の「神仏分離」を経て、戸隠山顕光寺は戸隠神社へと改まり、現在に至ります。

本展では、戦乱、雪崩、火災などを乗り越えて受け継がれてきた顕光寺由来の宝物を一堂に展示します。かつての信仰の姿に思いをはせながら、これら宝物を守り継いできた人々の願いにも触れていただければ幸いです。来年は式年大祭と柱松神事が行われます。1200年の歴史を伝える戸隠の宝物を、ぜひご覧ください。



就官書 玄龍

山号「戸隠山」(戸隠神社蔵)前期のみ

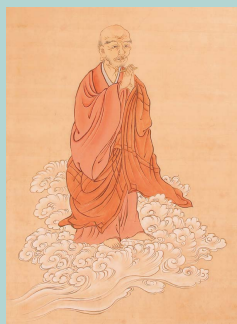


就官書 玄龍

寺号「顯光寺」(戸隠神社蔵)前期のみ



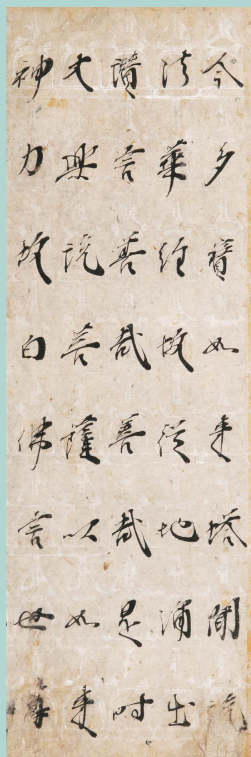
五所権現曼荼羅(戸隠神社蔵)後期のみ



学門行者御影
(戸隠神社蔵)後期のみ



伝教大師御影
(戸隠神社蔵)前期のみ



法華経断簡(戸隠切)
(当館蔵)前期のみ



木葉石・天狗の爪(戸隠神社蔵)



抜け止め杭
(戸隠神社蔵)



木造観音菩薩坐像(寶界寺蔵)



木造孔雀明王坐像(個人蔵)

※会期中、展示替えを行います。

講演会

- 定員220名
- 要事前申込(1ヶ月前より)
- 詳細はホームページで
- 共通券(500円)で聴講可

ギャラリートーク

担当：当館職員

7月25日(土) 13:30~15:00
「戸隠の景観 文化的景観はこうしてできあがった」
 小林昭裕氏 専修大学教授

8月1日(土) 13:30~15:00
「戸隠神社と首都江戸」
 大石 学氏 静岡市歴史博物館館長・東京学芸大学名誉教授

- ① 7月11日(土) 14:00~14:30
- ② 7月18日(土) 15:10~15:40
- ③ 8月8日(土) 15:10~15:40
- ④ 8月16日(日) 14:00~14:30

